

# 五十市小学校の感染症及び熱中症対策ガイドラインR4. 5月現在

地域の感染レベル：国レベル3（医療非常事態宣言）国レベル2（医療緊急警報）国レベル1（医療警報と警報なし）  
熱中症レベル暑さ指数（WBGT） 厳重警戒以上（30度以上）

## 早寝・早起き・朝ご飯でじょうぶな体をつくろう(健康管理)

### 1 朝、家庭での起床後から朝7時30分までの時間帯

- 家庭での検温等の健康チェック。子どもに発熱やかぜの症状がある場合には出席停止。濃厚接触者によりPCR検査を行う場合には、保護者から学校（教頭）へ連絡。その結果についても同じ。（休み中の場合でも連絡）
- 熱中症予防として、登校時において熱中症が心配される場合には、下記の事項を指導し、児童に定着させるが、保護者の判断においても（特に低学年児童）で「マスク休憩」を考慮する。  
※基本的な熱中症対策については、保健室からのプリント参照のこと。

※マスク休憩：自分の体調や熱中症予防の観点から、人との距離（できるだけ1m）を確保してマスクを外すこと。（しばらくマスクを外して、遊んだり木陰で休む）

【学校や家庭で同じように繰り返し指導を行い習慣化させる～子どもへ同じような指導として】

マスク休憩：感染しない、感染させないためには、マスクを付けることは大事だけど、いつでもどこでも、（登校中、下校中、授業中、休み時間、学校が休んで外で遊んでいる時など）「汗が出てつらいなあ～」「きついなあ～」「息苦しいなあ～」など、体調が悪くなる前でも、マスクを外すことが大事だよ。こまめな水分補給も大事。もし、体に変だな（気分が悪い）と感じたら、近くの大人や先生、見守りたいの方などにすぐに伝えるんだよ。  
※繰り返しの指導と大人の声かけが必要。マスクを外しての登下校の場合には人との間隔をとることを指導する。

### 2 登校時と登校後（感染症・熱中症予防）

- 通常の登校とするが、マスクは自分の体調に合わせて（熱中症予防のために）「マスク休憩」して登校してよいことをしっかり指導する。（上記）マスクはポケットに入れたり、かばんに入れたり、あごマスクをしたりして休憩する。教室に入る前に、アルコール消毒を済ませて、教室へ入る。教室では、水分補給を確実にし、体調を整えマスク着用する。朝の活動の際は、大きな声や密接した活動は避ける。

### 3 手洗い（よい子の手洗い～今後の感染予防も考慮して：液体石けん）

- ①水を出し、石けんをあわ立てて、手を洗う。
- ②石けんのついた手でじゃ口を洗う。
- ③手についた石けんを洗い流す。
- ④最後にじゃ口についたあわを洗い流す。（じゃ口に3回かける）

### 4 授業（感染症・熱中症予防）

- 原則として、全員マスクを着用する。友達との距離感を保った活動を行う。友達同士で教え合ったり、話し合ったりなどの活動時は、マスクを着用し、できるだけ小声及び顔を近づけないで学習を進める。特に技能教科において、感染リスクが高い活動については、感染状況に応じて慎重に実施を検討する。  
感染症対策・熱中症予防で気になる学習活動があれば、その都度、教頭へ相談する。また、熱中症対策として必要時はエアコンは稼働させるが、教室の換気は、どの時間においても行う。さらに、児童の教材教具の貸し借りはしないものとする。

### 5 休み時間や教室移動及び昼休み時間（感染症・熱中症予防）

- 友達とは、小声で話す。教室への出入りごとに消毒を行う。（感染症対策）
- 教室移動時は無言移動を心がける。（感染症対策）
- 昼休み時間については、感染症対策及び熱中症予防の観点から以下のとおりとする。

- ① 昼休み時間は、これまで通りの時間短縮設定とする。期間は、5月から当分の間とし、今後の感染状況に応じて、通常の45分に戻すかを判断するものとする。（必要な場合には、室内はエアコンを稼働）  
（危険禁止の場合）※暑さ指数（WBGT） 厳重警戒以上（30度以上）の場合には、運動場での活動は禁止～管理職・養護教諭等で判断～昼休みに入る前に、放送で指示し、注意喚起を行う。

※お昼正午に判断する

- ② 運動場で遊ぶ場合には、帽子の着用とマスク休憩を行うなどして、体調管理に努めさせ、児童に「帽子着用」と「マスク休憩」（木陰で休む等も含む）を定着させる。  
※指導事項として、（感染予防からも）運動場（外）では、「マスク休憩」と「こまめな水分補給」について注意喚起する。
- ③ 遊具などを利用してよいが、器具や用具の共有後は、使用前後の手洗いの徹底を図る。

### 6 給食（感染症予防）

- 「よい子の手洗い」後、給食準備は無言で行い、黙食を徹底する。
- 歯磨きは、飛沫感染防止のために行わない。ただし、歯磨きを行いたい児童については、昼休みに、密を避けて実施できる。



### 7 清掃時間（感染症予防）

- 無言清掃を徹底する。

### 8 下校時（感染症・熱中症予防）

- 通常通りとするが、速やかな下校を心がける。※マスク休憩は登校時と同じ。
- 寄り道をせずマスク休憩をするなどして、帰宅する。（児童クラブ及び通塾は省く。）
- 感染状況等さらに高まれば、机・いす等の消毒時間を設定した上で消毒を実施する場合がある。